

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C	令和5年5月11日 北信地域振興局
横断的な課題	若者定着のための雪に強い故郷(ふるさと)暮らしの推進					
地域重点政策	若者定着のための雪に強い故郷暮らしプロジェクト					
実施機関	北信地域振興局		担当課	所属	北信保健福祉事務所	
事業名	雪国の生活を支える医療等の生活基盤の整備			電話	0269-62-3105	
				E-mail	hokuho-somu@pref.nagano.lg.jp	

事業の概要等	目的 (目指す姿)	地域の健康課題を解決するために、「減塩」と「地元野菜と果物の摂取」に取り組むキャンペーンを実施し、北信地域の健康づくりと地産地消、地元農産物の普及を促進する。
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 長野県は、食塩摂取量が全国で男性3位、女性1位である。北信地域は脳卒中の年齢調整死亡率が県平均と比べて高く、減塩の普及啓発が重要である。また、若年者の野菜摂取量は減少傾向にあるため、「地元の野菜と果物の摂取」と「減塩」を通年で普及啓発していく必要がある。また、広く普及していくためには、保健福祉事務所だけでなく、市町村をはじめ、関係機関・団体と連携し、若い時から普及していくことが必要である。 令和3年度作成した市町村・関係者（食生活改善推進協議会北信州支部会員等食育ボランティア）の声を反映したレシピ集を講習会や調理実習等で活用したが、「乳幼児を持つ母親世代向け資料がほしい」「若い世代の関心を高める必要がある」などの意見が上がり、令和5年度の活動に向け各世代の特徴を踏まえた効果的な啓発物品の作成が求められる。
	内容 (変更後の内容)	<p>【ひくシオたすベジ北信州キャンペーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市町村をはじめ、保育所、学校、飲食店等関係機関・団体等と連携し、減塩と野菜摂取増加に向けてキャンペーンを実施する。 ○年度を通して関係者からの意見聴取と情報交換を行い、普及方法について検討する。 ○来年度の年度当初からの事業展開に向け、健康づくりに無関心な若年層・働き盛り世代に向けて意識づけと実践を促すため、世代別の食生活のヒントや塩分チェックシートを盛り込んだ各種リーフレットを作成する。 <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村や食育ボランティア等による調理講習会の開催 スケジュール：4月下旬～勉強会 5月～各地区において講習会（月2～3回） 関係者を集めた報告会・情報共有（年8回） ・保育所給食、学校給食、医療機関等におけるメニューへの反映
	事業期間	令和4年4月 ~ 令和5年3月

事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考
		「ひくシオたすベジ北信州」キャンペーン	「ひくシオたすベジ北信州」の普及啓発のためのリーフレット・ポスター及び動機付けを行うため各種リーフレット等の作成・配布	425,590
			425,590	

指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況
		減塩と野菜摂取増加の実践を促すための各種リーフレット等を活用した講習会の開催	60回	63回
				○ 一部達成
				○ 未達成

事業実績・成果	<p>【ひくシオたすベジ北信州キャンペーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット等を配布することで、各機関・団体で実施する講習会、住民への指導及び啓発活動に効果的に使用され「ひくシオたすベジ北信州キャンペーン」（減塩と野菜摂取の増加）の趣旨が地域に広がってきた。 ・保育所給食や学校給食でもリーフレットを活用した給食だよりの配布や、「ひくシオたすベジメニュー」の提供などが行われ、子どもはもとより保護者にも普及啓発が行われた。 ・若い世代・働き盛り世代への意識の醸成と実践定着を図っていくことが必要という関係機関・団体からの意見をもとに、リーフレットを作成することにより、関係者の輪が広がり、更なる働きかけの方法等、今後の展開に向けて新たなアイデアも出された。
---------	--

今後の方向性	管内全体に、住民に密着した普及を推進するために、市町村、関係機関、団体等から出された意見等をもとに北信地域食育連絡会等で今後の取組の方向性について、新たな媒体を作成し、それを活用した新たな普及啓発のあり方を検討する。
--------	--